

## 株式会社ソウワ・ディライト - 概要

### DXによる働き方の変化の先を考える、小さな森によるウェルビーイング向上

#### 【会社概要】

「デンキのミライにワクワクする」をビジョンに掲げながら、電気を通して地域とお客さまに感動を提供できる企業を目指しています。世界を創る建設業界の仕事や現場に携わる人たちが「尊い」と、もっと多くの方に知ってもらいたい。建設業界を盛り上げたい。という思いで活動しています。

#### 【現状・課題】

- ・ 創業から40年間続く電気工事だけでなく、人や世界を明るくするための事業を行いたい。
- ・ デジタル化が進む社会のなかで、人間らしく居られる場所を創りたい。

#### 【変革の方針】

- ・ ソウワディライトの得意とする、「生物多様性」「微生物多様性」の視点から、人が人らしくいられる場づくりを行っていく。



#### Light the world

「光」を用いて、場を照らす  
今まで気が付かなかった価値に気づく



#### Delight the People

「場」をひらくことで  
人々と感動を分かち合う



## coco no mori - 植栽トンネル

### coco no mori

私たちが森をつくる理由  
Since 2019

デジタル化が進む社会のなかで、人間らしく居られる場所をつくり始めた。  
単に「木」を増やすだけでなく「生物多様性」「微生物多様性」の視点から  
自然植生・多様な植生の木を植樹することで、生きものの「生態系」が戻ってきた。  
また、地域住民の方や子ども達が集まる場となり、様々な接点が生まれる場となった。

#### 森の取り組み

- ・ Tiny library
- ・ tiny tiny book store
- ・ SHINe食堂 (夏季)
- ・ トランポリン
- ・ Green Universe
- ・ ロバヤギとの共生
- ・ 馬との共生 (coming soon)

#### 森の役割

- ・ サテライトオフィス
- ・ 地域住民のサードプレイス
- ・ 子ども達の空き地、基地
- ・ 生きもの達の住処
- ・ イベント、人とのご縁を可視化する場
- ・ コミュニケーションが生まれる場
- ・ 遊休地、耕作放棄地の活用
- ・ 防災拠点としての活用

#### 森をつくったことで得られたもの

- ・ 地域住民との繋がり
- ・ 社員との交流
- ・ 他業種の様々な方のご縁、繋がり
- ・ コロナ禍での新しい働き方の実現
- ・ 微生物との交流による免疫力の向上
- ・ グリーンの癒しによる精神衛生の安定
- ・ 知の探究、学びのきっかけ

### 体験インスタレーション

#### 制作物

##### 植栽トンネル

- ・ 場所：NETSUGENの入り口付近
- ・ 制作方法：現在NETSUGENにあるドームを活用できればgood  
(できれば木材等で簡易的なトンネルを作るなど要相談)

#### 植栽をトンネル型にする理由

##### 微生物がどのように人に届くのかを直感的に体験してもらうため

- ・ 微生物は重力で移動するので、植栽を人よりも高い位置に設置することで人に届きやすくなる。
- ・ 微生物は風で移動するので、植栽を人の導線の近くに設置することで人に届きやすくなる。

#### 目的

##### 「森を通過って職場に行く」の疑似体験をしてもらう

- ・ NETSUGENに入ってきた人に、微生物を浴びてもらってから各スペースに行ってもらおう。



なぜ、群馬県庁で「森」「微生物多様性」なのか

会社などの組織において、あるべき自分の姿や忙しくすべきこと  
”doing”におわれる現代の生活の中で、自分らしくただそこにいら  
れる”being”な場所をつくる実験を社有地を中心に行ってきた。

生物環境の多様性を取り戻すことが見た目の美しさだけではなく  
人と人、人と自然とのつながりを取り戻すことで私たちが本来持  
っている創造性の発揮や免疫機能の向上やストレス低減効果を通  
じたウェルビーイングの向上に繋がる効果が確認されている。

デジタル県として進んでいる群馬県。世の中が便利になればなる  
ほど、デジタルの反対側にある「不便さ」や「人間らしさ」が私  
たちにとって大切だと考える。

官民共創スペース NETSUGENを活用し、県民・県職員の方々と共  
にリアルなグリーンに触れ、自然由来の微生物に触れることで  
心身ともに心地よく働き、より豊かに、ウェルビーイングな場を  
作り上げることを目的とする。

今後は、県庁前広場内で森の展開、企業・各地域・教育機関へ  
「森」を提案・展開。森を具現化すると共に文化の醸成やコミュ  
ニティの形成を目指す。

# 株式会社ソウワ・ディライト - 価値を伝える取り組み



## 【価値を伝える取り組み】

coco no moriの活動を広め、共感をしてくれる人を増やしていくべく、株式会社BIOTAとの共創を通じて、体験インスタレーション「植栽トンネル」を制作。群馬県庁32階官民共創スペースNETSUGENにて展示を行う。

また、展示に合わせて、板橋 令子氏(キュレーター)やドミニク・チェン氏(早稲田大学 文学学術院 教授)など生物多様性に関連して著名なゲストと共に、取り組みを多くの人に伝えるトークイベントも開催する。

## 【クリエイティブパートナー】 株式会社BIOTA (企画・設営)



私たちの身体には38兆個もの微生物が生息しており、彼らは多くの利益をもたらしてくれる欠かせない存在です。もちろん都市にも多くの微生物が生息しており、ひとびとの生活に大きな影響を与えています。私たちBIOTAは、都市の微生物の多様性を高めることで、人々が健康で安心して暮らせる都市づくりを実現します。

暮らしやワークスタイルのための生態系や生物多様性を軸とした新しいデザインを考えるトークセッション

### 「イチ企業」「イチ森」の時代

～企業が森をつくる意味～

2024年3月26日(火) 19:00~20:30 ※オンライン配信あり  
@ 群馬県庁 32階 NETSUGEN

板橋 令子 (キュレーター) | 渡邊 麗香 (株式会社ソウワ・ディライト) | ドミニク・チェン (早稲田大学文学学術院教授) | 伊藤 拓平 (株式会社BIOTA 代表取締役)

主催: 株式会社ソウワ・ディライト NETSUGEN 共催: 株式会社 BIOTA

3月26日 【暮らしやワークスタイルのための生態系や生物多様性を軸とした新しいデザインを考えるトークセッション】「イチ企業」「イチ森」の時代～企業が森をつくる理由～

(火) 19:00 | 群馬県庁 32階 1丁目1-1 | By Sowa Delight

チケット 参加チケット 申込停止中

チケットを申し込む